



2012年9月26日

## 「ランタス®用量設定サポート機能付電卓」を提供開始

—大規模調査ALOHAスタディのサブ解析<sup>1</sup>結果に基づき、「ランタス®」の最適用量を計算—

サノフィ・アベンティス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジェズ・モールディング、以下「サノフィ・アベンティス」)は、経口血糖降下薬で効果不十分な患者さんに、基礎インスリン製剤「ランタス®」(一般名:インスリン グラルギン[遺伝子組換え])を併用する際に使用する、「ランタス®用量設定サポート機能付電卓」を開発し、本年9月に全国の医療従事者への提供を開始致しました。

日本の糖尿病患者数は2011年に1,067万人を超え、世界でも6番目に多い患者数となっています<sup>2</sup>。また大規模国際研究によると、北米や欧州地域に比べ、日本は血糖値の管理状態が良くない糖尿病患者が多いことが報告されています<sup>3</sup>。近年、2型糖尿病の治療において、経口糖尿病薬で血糖コントロールが不十分な場合に、早期から基礎インスリン製剤を追加併用するBOT(Basal-supported Oral Therapy)が急速に普及しています。しかしながら、BOTによる治療を行っても血糖値のコントロールが不十分な患者さんが、目標を達成し良好な血糖値を維持するためには、定期的に血糖値を確認し、適切にインスリンの用量を調節する必要があります。

そこで、サノフィ・アベンティスでは、日本人2型糖尿病患者5,223症例を対象とした大規模調査ALOHAスタディのサブ解析の結果に基づき、経口糖尿病薬との併用時の「ランタス®」の適切な用量を症例ごとに計算し、患者さんの血糖コントロール改善を支援するツール「ランタス®用量設定サポート機能付電卓」を開発しました。

「ランタス®用量設定サポート機能付電卓」は、患者さんの体重、現在のHbA1c値、および目標のHbA1c値の3つの数値を入力すると、「ランタス®」導入時の投与単位数、導入後に追加する投与単位数、そして24週後に必要となる投与単位数が表示されます。

サノフィ・アベンティスは、経口糖尿病薬とインスリン製剤の両方を提供する製薬会社として、両製剤を用いた適切な併用療法の実現に向けて、今後も2型糖尿病患者さんおよび医療関係者の方々を支援してまいります。

以上

別紙:「ランタス®用量設定サポート機能付電卓」概要

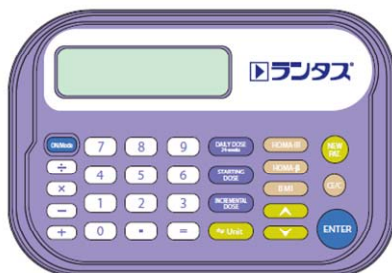
1 Potential Formula for the Calculation of Starting and Incremental Insulin Glargine Doses: ALOHA Subanalysis, T. Kadowaki et al. PLOS ONE; 7(8): e41358, 2012

2 国際糖尿病連合発行『Diabetes Atlas』第5版

3 CREDIT(the Cardiovascular Risk Evaluation in people with Type 2 Diabetes mellitus on Insulin Therapy)試験

## 「ランタス<sup>®</sup>用量設定サポート機能付電卓」概要

1. 機能  
体重、現在の HbA1c 値、目標とする HbA1c 値を入力すると、「ランタス<sup>®</sup>」導入時の投与単位数、導入後に追加する投与単位数、24 週後に必要となる投与単位数が表示される。また本来の計算機としての機能に加え BMI、Homa-IR、Homa- $\beta$  の計算機能も有する。
2. 監修  
東京大学大学院内科学専攻 生体防御腫瘍内科学講座 代謝・栄養病態学 教授  
門脇 孝 先生
3. 製品イメージ



### ALOHA スタディ(Add on Lantus to OHA)について

ALOHA スタディは、ランタスに関する特定使用成績調査〔経口血糖降下薬との併用に関する調査(2 型糖尿病)〕です。HbA1c7.5 以上 12.0%未満の日本人 2 型糖尿病患者を対象として、「ランタス<sup>®</sup>」と経口血糖降下薬との併用時の安全性・有効性に関して調査しました。2007 年 11 月から 2009 年 9 月にかけて 5,223 症例が登録され、調査結果は 2011 年 3 月号の「新薬と臨牀」誌において発表されました。

### サノフィ・アベンティスの糖尿病領域への取り組み

サノフィ・アベンティスは、日本の糖尿病領域において経口血糖降下剤とインスリン製剤を提供し、各治療段階における糖尿病患者さんに貢献する製薬企業です。経口血糖降下薬の主力製品として、2 型糖尿病に使用されるスルホニルウレア系経口血糖降下薬(SU 薬)「アマリール<sup>®</sup>」(一般名:グリメピリド)および選択的DPP-4 阻害薬「エクア<sup>®</sup>」(一般名:ビルダグリプチン)と、1 型および2 型糖尿病を対象とする持効型溶解インスリンアナログ製剤の「ランタス<sup>®</sup>」(一般名:インスリングラルギン[遺伝子組換え])及び超速効型インスリンアナログ製剤「アピドラ<sup>®</sup>」(一般名:インスリングルリジン[遺伝子組換え])を提供しています。サノフィ・アベンティスは 2008 年より、日本糖尿病協会の発展に寄与し、顕著な功績をあげた日本糖尿病協会の会員およびその関係者を表彰する、日本糖尿病協会「サノフィ・アベンティス賞」を後援しています。また糖尿病の患者さんや一般の方に向けて、糖尿病の情報ウェブサイト「糖尿病がよくわかるDM Town」([www.dm-town.com](http://www.dm-town.com))、「よくわかるインスリン」([www.dm-town.com/insulin/](http://www.dm-town.com/insulin/))を開設して情報提供を行っています。日本糖尿病協会とサノフィ・アベンティスが2006年より毎年実施しているHbA1c認知向上運動のイベントについても“DM-TOWN”([www.dm-town.com/hba1c/index2.html](http://www.dm-town.com/hba1c/index2.html))においてご覧いただけます。

\*エクア<sup>®</sup> (一般名:ビルダグリプチン)はノバルティス ファーマ(株)と販売提携を行っています。

## サノフィ・アベンティス株式会社について

サノフィ・アベンティスは、約3,000人の従業員を擁し、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」をビジョンに、医療用医薬品の開発・製造・販売を行っています。詳細は、[www.sanofi-aventis.co.jp](http://www.sanofi-aventis.co.jp)をご参照ください。サノフィ・アベンティスは、サノフィ・グループの一員です。